

平成26年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅳ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領	1
1－1. 調査時点及び調査対象期間	
1－2. 調査対象	
1－3. 調査方法	
1－4. 回収状況	
第2章 概況	
2－1. 全体の動き	2
2－2. 業種別の動き	3
第3章 各判断項目回答割合	
3－1. 業況	6
3－2. 完成工事高・生産高・売上高	7
3－3. 在庫水準	8
3－4. 採算	8
3－5. 資金繰り	9
第4章 景況天気図	
4－1. 記号説明	10
4－2. 全業種D.I.値の状況	10
4－3. 業種別D.I.値の状況	11
第5章 産業別経営上の問題点	13
第6章 産業別設備投資の状況	14
第7章 業界の景気動向等その他ご意見	15

第 1 章 調査要領

1－1．調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成 27 年 4 月 8 日（水）～平成 27 年 4 月 27 日（月）
- (2) 調査期間：平成 27 年 1 月～3 月期実績、及び、平成 27 年 4 月～6 月期見通し

1－2．調査対象

網走市に所在する建設業（25 件）、製造業（23 件）、卸売業（21 件）、小売業（33 件）、サービス業（33 件）の 5 業種 135 社を調査対象とした。

1－3．調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

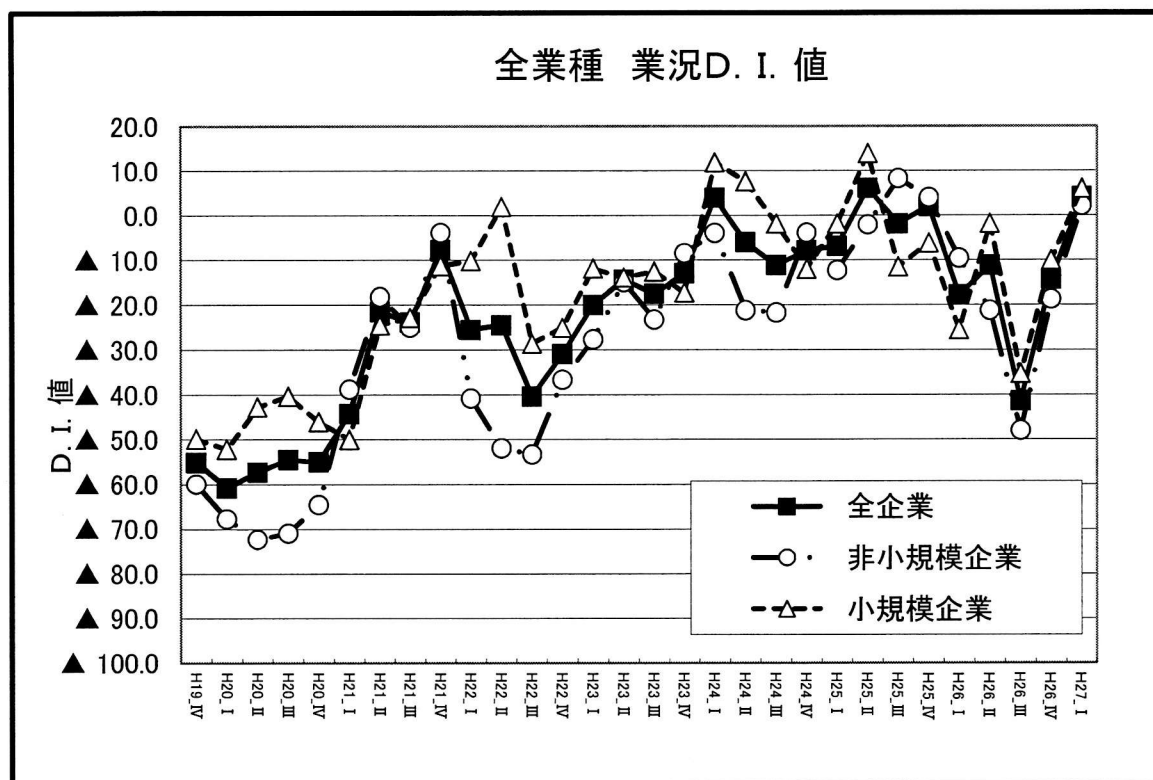
1－4．回収状況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
建 設 業	25 件	19 件 (非小規模企業：9 件) (小規模企業：10 件)	76.0%
製 造 業	23 件	15 件 (非小規模企業：6 件) (小規模企業：9 件)	65.2%
卸 売 業	21 件	18 件 (非小規模企業：9 件) (小規模企業：9 件)	85.7%
小 売 業	33 件	23 件 (非小規模企業：10 件) (小規模企業：13 件)	69.7%
サービス業	33 件	24 件 (非小規模企業：14 件) (小規模企業：10 件)	72.7%
合 計	135 件	99 件	73.3%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が 20 名以下（卸売業・小売業・サービス業は 5 人以下）を示す。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

平成26年度第IV四半期<1月～3月>に業況は、前年同期比で「好転企業」18.4%、「悪化企業」32.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲14.3と前期に比べ27.1ポイント改善しました。非小規模企業のD.I.値は29.3ポイント改善し▲18.7、小規模企業においても25.3ポイント改善の▲10.0となるなどいずれも改善方向を示しております。しかしながら、全体としては4期連続のマイナス水準となり、網走市における景気の停滞感は依然として解消されていません。

今期は5業種中4業種で前期より改善傾向を示し、特に製造業が46.6ポイント改善し0に回復したほか、サービス業では47.9ポイント改善し21.8とプラス水準に戻った。建設業においても36.9ポイント改善し▲10.5、小売業は一部「あばしり活性化商品券」の影響もあり19.3ポイント改善し▲34.8。

一方、卸売業は16.7ポイント悪化し、▲10.5となるなど消費税増税の影響が依然尾を引いている状況にあります。

今期と比べた次期<4月～6月>の見通しは「好転企業」が27.6%、「悪化企業」が23.5%となりD.I.値4.1と、18.4ポイント改善の見通しを示しております。

全5業種全てで改善の見通しを示し、4業種がプラス水準に戻ると見込んでいる。特に製造業で大きく改善するとしています。唯一小売業が▲17.4と改善傾向にはあるものの、依然マイナス水準となり個人消費の落ち込みが懸念されます。

経営上の問題点としては「諸経費増」「人材不足」「売上の不振」が上位を占めました。建設業では引き続き「人材不足」をあげ、卸売業においては「売上の不振」と回答しました。製造業は原材料のコストアップや電気料金等の値上げによる「諸経費増」が課題と位置づける企業が多くを占め、小売業においては「得意先の減少」、サービス業は「人材不足」をあげており、業種ごとに問題点が分かれた点が今期の特徴といえます。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	30.0%	30.0%	0.0	→
非小規模企業	11.1%	77.8%	▲ 66.7	↓
全体	21.1%	52.6%	▲ 31.5	↓

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	10.0%	20.0%	▲ 10.0	↓
非小規模企業	11.1%	55.6%	▲ 44.5	↓
全体	10.5%	36.8%	▲ 26.3	↓

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	20.0%	40.0%	▲ 20.0	↓
	非小規模企業	44.4%	11.1%	33.3	↑
	全体	31.6%	26.3%	5.3	↑
完成工事高	小規模企業	10.0%	40.0%	▲ 30.0	↓
	非小規模企業	33.3%	22.2%	11.1	↑
	全体	21.1%	31.6%	▲ 10.5	↓
資金繰り	小規模企業	10.0%	10.0%	0.0	→
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全体	5.3%	5.3%	0.0	→

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	33.3%	11.1%	22.2	↑
非小規模企業	33.3%	33.3%	0.0	→
全体	33.3%	20.0%	13.3	↑

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	44.4%	33.3%	11.1	↑
非小規模企業	16.7%	50.0%	▲ 33.3	↓
全体	33.3%	40.0%	▲ 6.7	↓

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	33.3%	11.1%	22.2	↑
	非小規模企業	50.0%	0.0%	50.0	↑
	全体	40.0%	6.7%	33.3	↑
生産高	小規模企業	22.2%	0.0%	22.2	↑
	非小規模企業	50.0%	0.0%	50.0	↑
	全体	33.3%	0.0%	33.3	↑
資金繰り	小規模企業	11.1%	0.0%	11.1	↑
	非小規模企業	16.7%	0.0%	16.7	↑
	全体	13.3%	0.0%	13.3	↑

(3) 卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	22.2%	44.4%	▲ 22.2	↘
非小規模企業	11.1%	66.7%	▲ 55.6	↘
全体	16.7%	55.6%	▲ 38.9	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	33.3%	▲ 33.3	↘
非小規模企業	11.1%	66.7%	▲ 55.6	↘
全体	5.6%	50.0%	▲ 44.4	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	33.3%	22.2%	11.1	↗
	非小規模企業	22.2%	22.2%	0.0	→
	全体	27.8%	22.2%	5.6	↗
売上高	小規模企業	22.2%	22.2%	0.0	→
	非小規模企業	22.2%	22.2%	0.0	→
	全体	22.2%	22.2%	0.0	→
資金繰り	小規模企業	0.0%	33.3%	▲ 33.3	↘
	非小規模企業	11.1%	0.0%	11.1	↗
	全体	5.6%	16.7%	▲ 11.1	↘

(4) 小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	76.9%	▲ 76.9	↘
非小規模企業	20.0%	40.0%	▲ 20.0	↘
全体	8.7%	60.9%	▲ 52.2	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	7.7%	46.2%	▲ 38.5	↘
非小規模企業	10.0%	30.0%	▲ 20.0	↘
全体	8.7%	39.1%	▲ 30.4	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	23.1%	30.8%	▲ 7.7	↘
	非小規模企業	10.0%	40.0%	▲ 30.0	↘
	全体	17.4%	34.8%	▲ 17.4	↘
売上高	小規模企業	23.1%	30.8%	▲ 7.7	↘
	非小規模企業	10.0%	50.0%	▲ 40.0	↘
	全体	17.4%	39.1%	▲ 21.7	↘
資金繰り	小規模企業	0.0%	23.1%	▲ 23.1	↘
	非小規模企業	0.0%	30.0%	▲ 30.0	↘
	全体	0.0%	26.1%	▲ 26.1	↘

(5) サービス業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	33.3%	11.1%	22.2	↗
非小規模企業	50.0%	21.4%	28.6	↗
全体	43.5%	17.4%	26.1	↗

■採 算

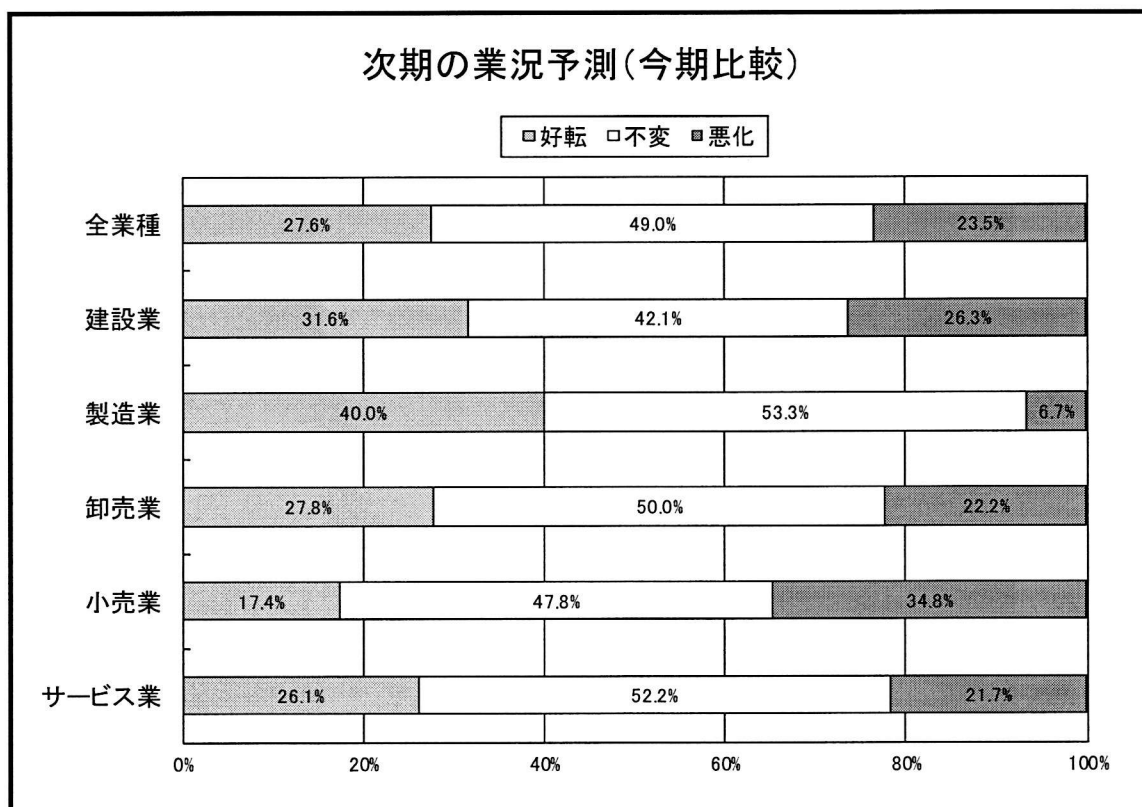
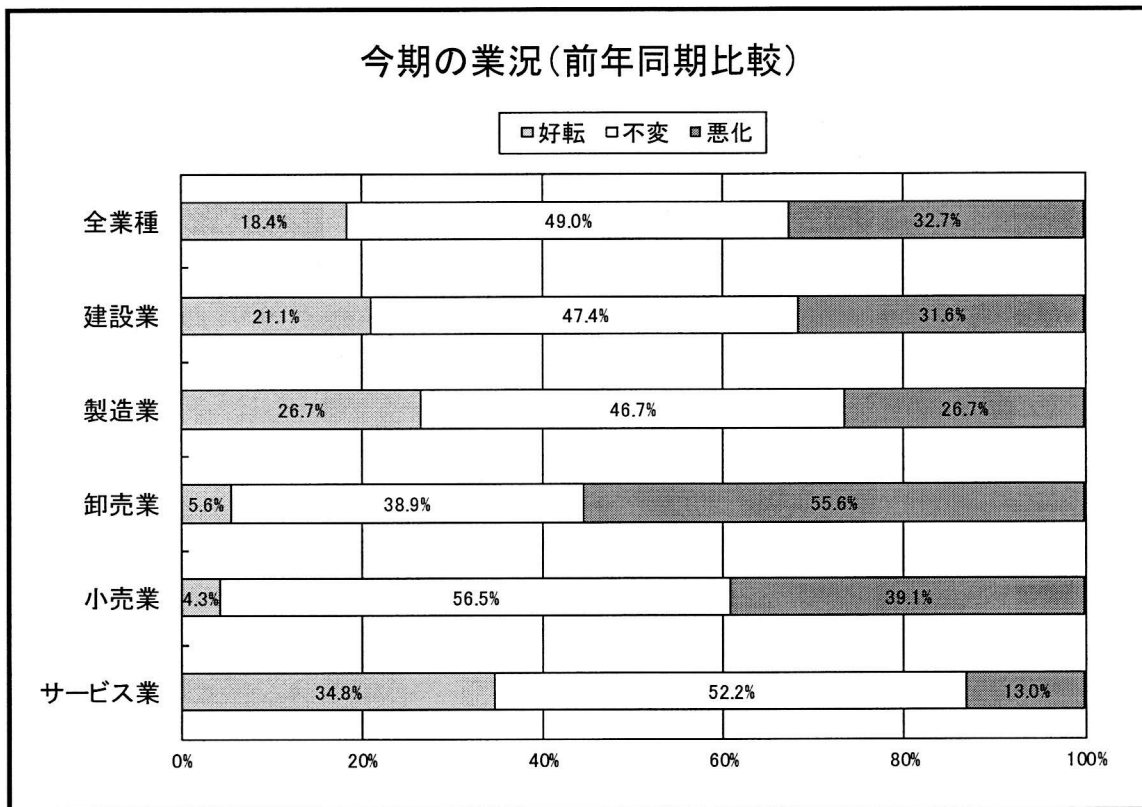
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	22.2%	11.1%	11.1	↗
非小規模企業	35.7%	7.1%	28.6	↗
全体	30.4%	8.7%	21.7	↗

■次期の見通し

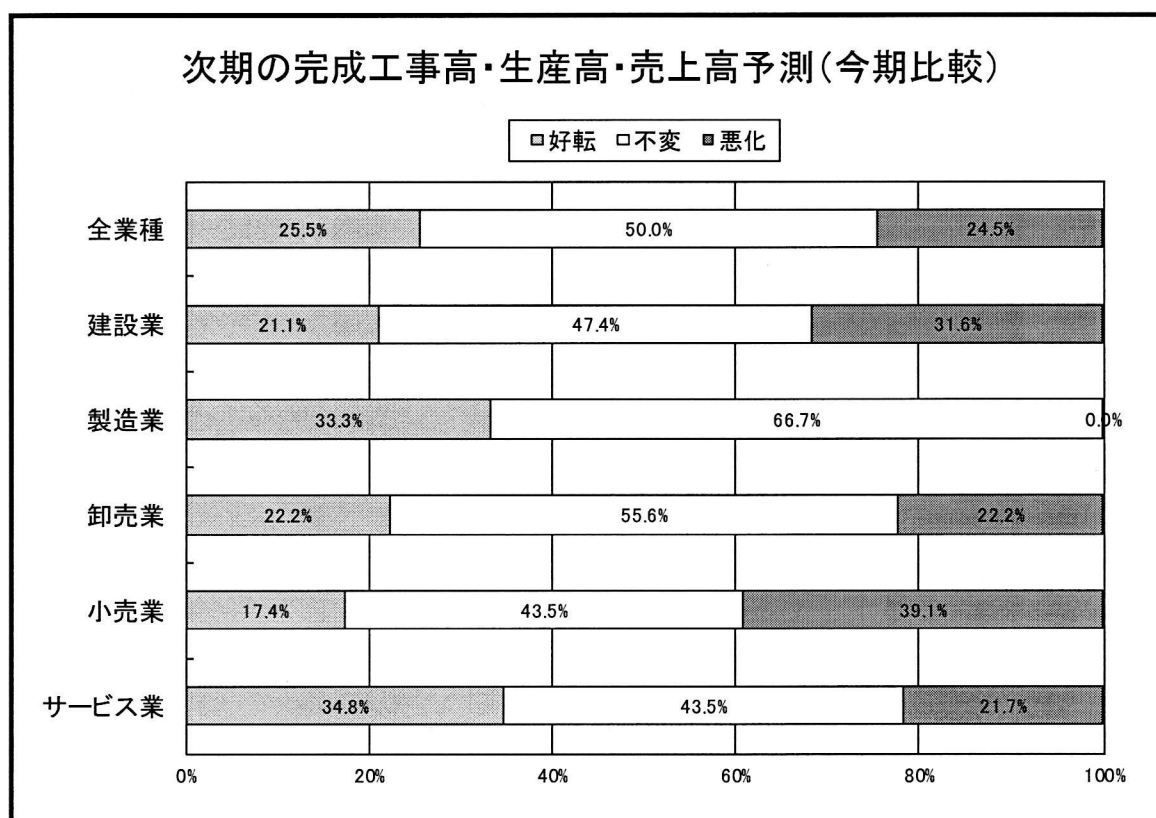
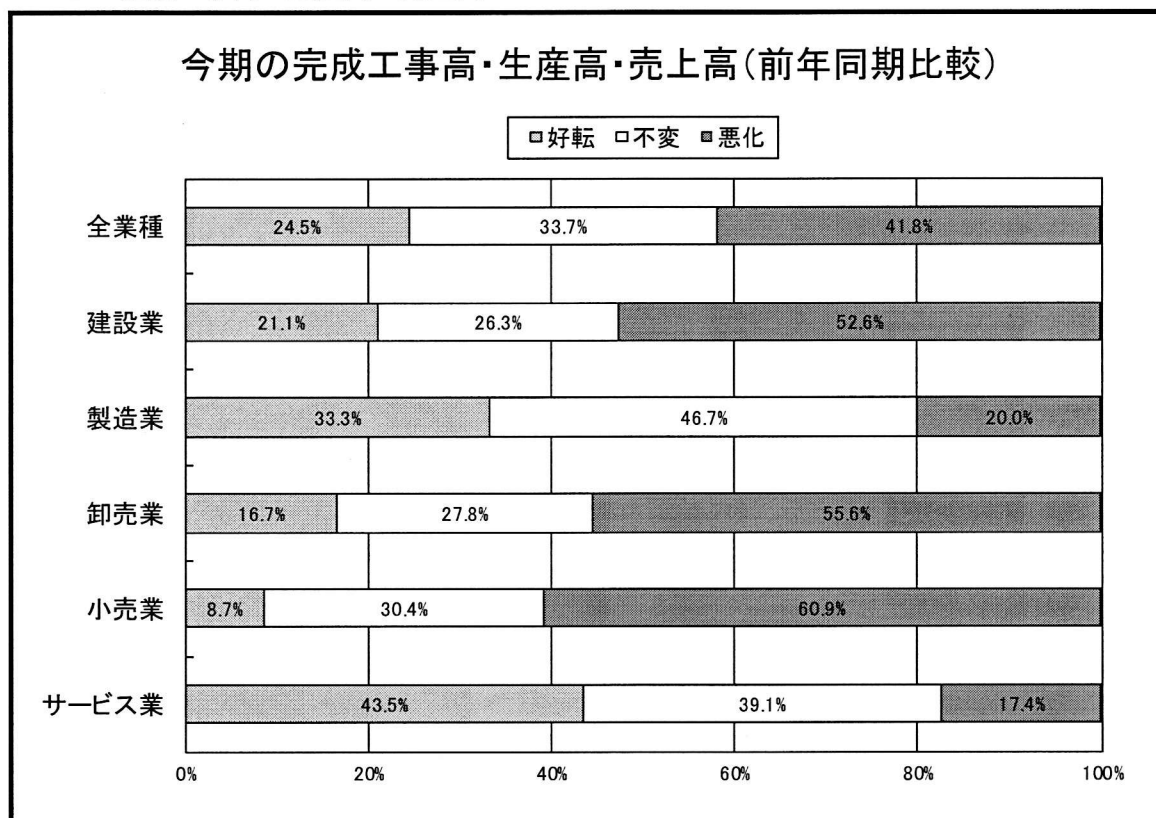
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	33.3%	0.0%	33.3	↗
	非小規模企業	21.4%	35.7%	▲ 14.3	↘
	全体	26.1%	21.7%	4.4	↗
売上高	小規模企業	44.4%	0.0%	44.4	↗
	非小規模企業	28.6%	35.7%	▲ 7.1	↘
	全体	34.8%	21.7%	13.1	↗
資金繰り	小規模企業	22.2%	0.0%	22.2	↗
	非小規模企業	7.1%	28.6%	▲ 21.5	↘
	全体	13.0%	17.4%	▲ 4.4	↘

第3章 各判断項目回答割合

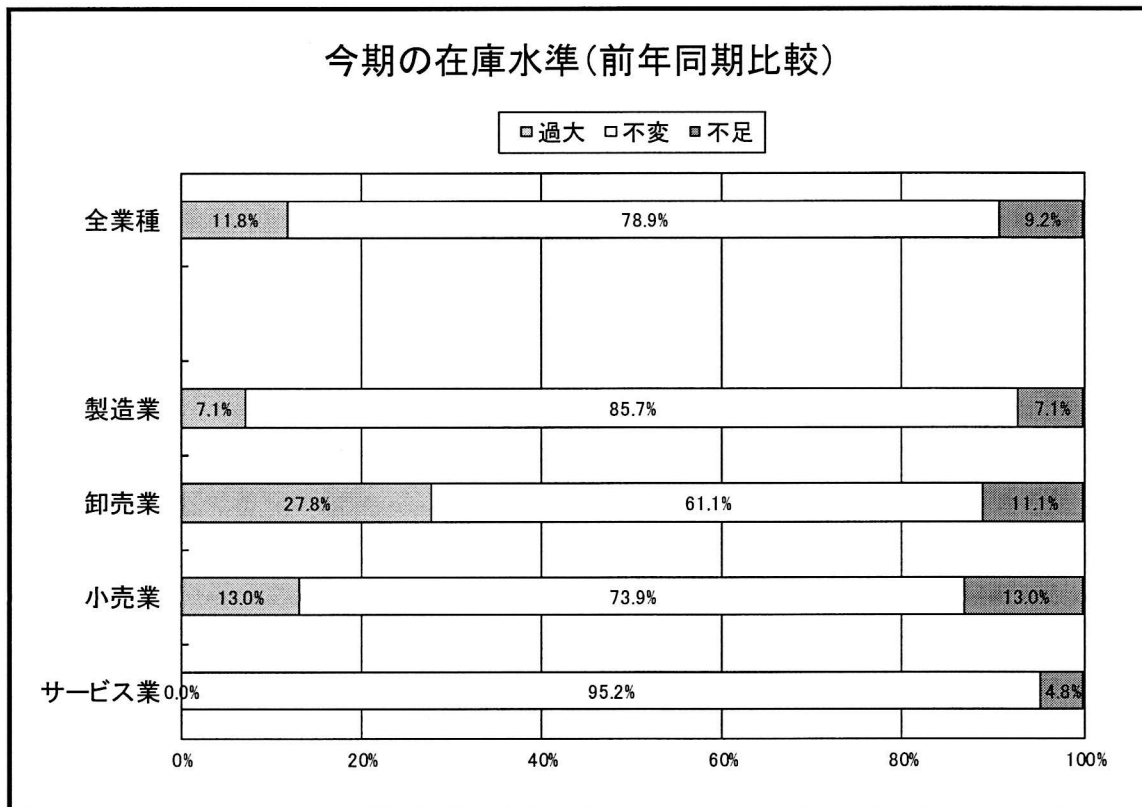
3-1. 業況



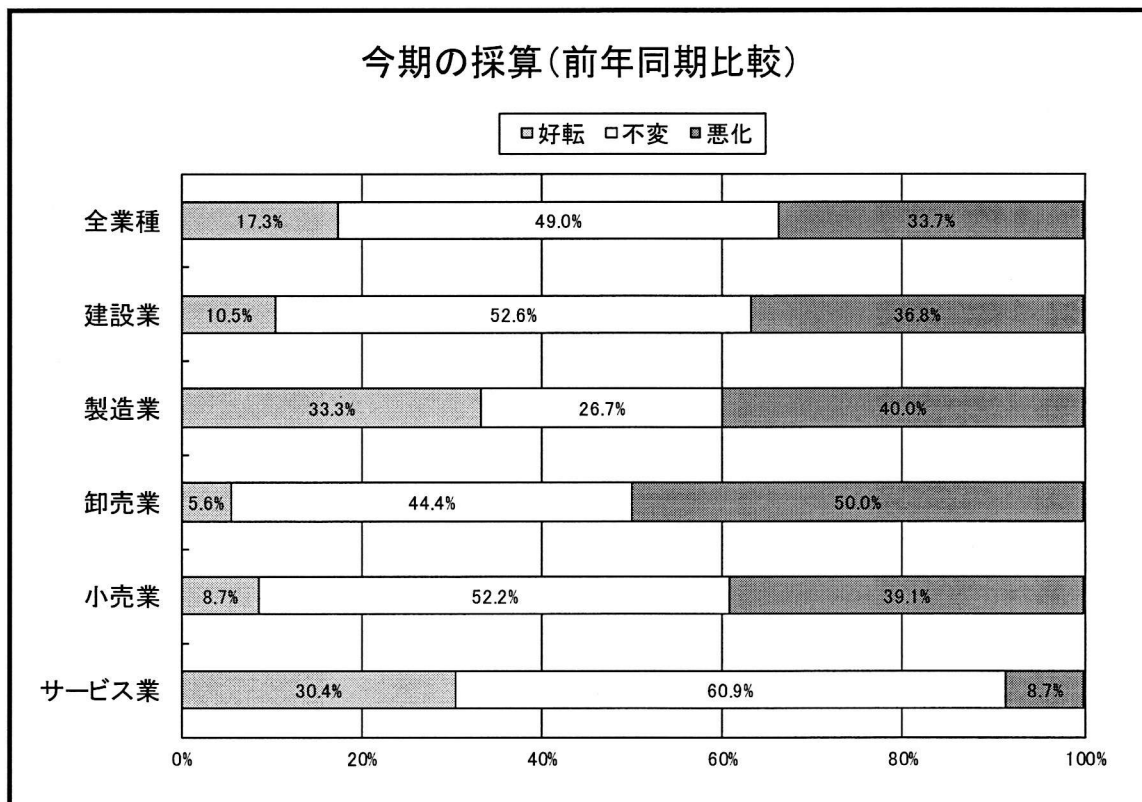
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



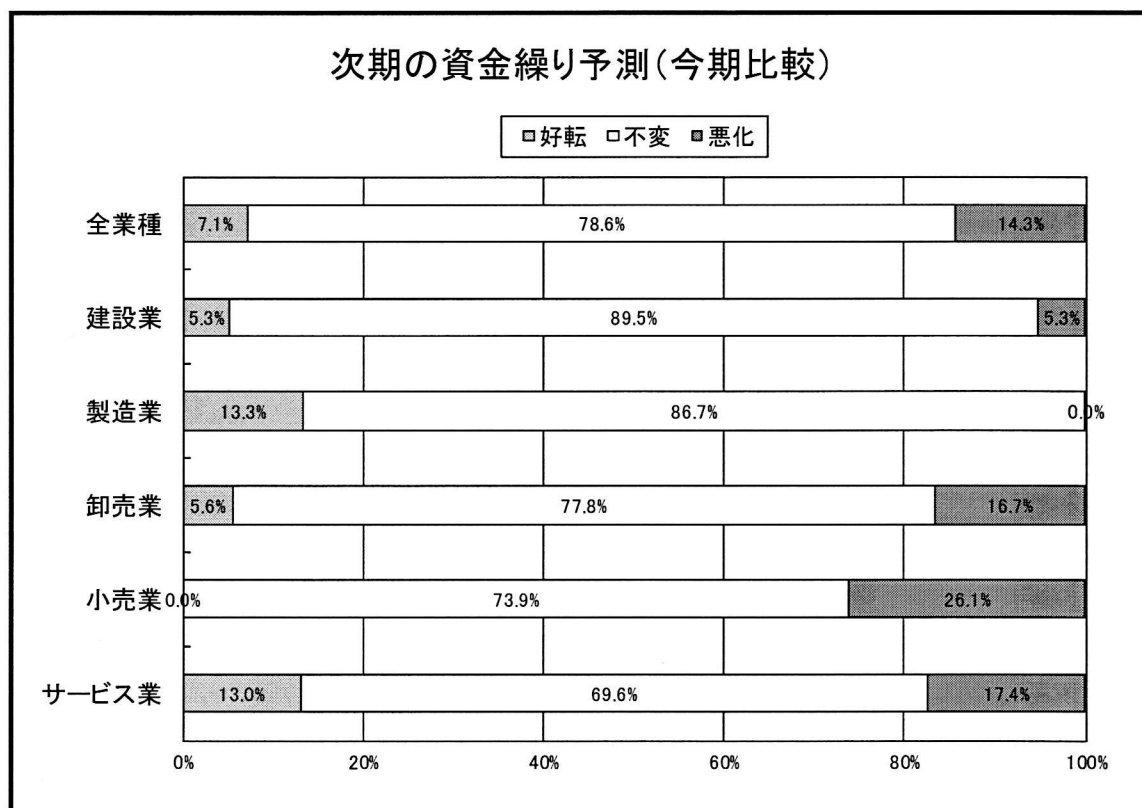
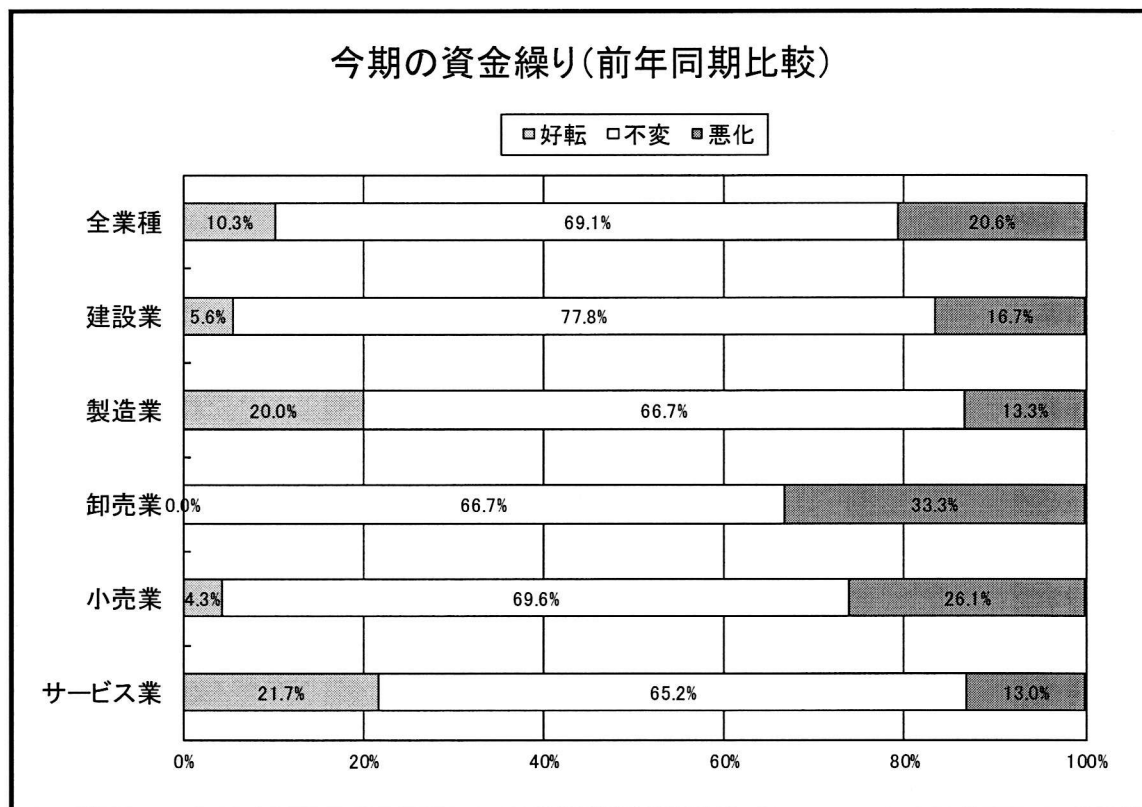
3－3．在庫水準



3－4．採算



3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 (50 > D.I. ≥ 25)	まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)	不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)	きわめて不振 (▲25 > D.I.)

4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 ▲ 14.3	 4.1
売 上	 ▲ 17.3	 1.0
採 算	 ▲ 16.4	
資金繰り	 ▲ 10.3	 ▲ 7.2

4-3. 業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
建設業	業 況	 ▲ 10.5	 5.3
	完成工事高	 ▲ 31.5	 ▲ 10.5
	採 算	 ▲ 26.3	
	資金繰り	 ▲ 11.1	 0.0
製造業	業 況	 0.0	 33.3
	生産高	 13.3	 33.3
	採 算	 ▲ 6.7	
	資金繰り	 6.7	 13.3
卸売業	業 況	 ▲ 50.0	 5.6
	売 上	 ▲ 38.9	 0.0
	採 算	 ▲ 44.4	
	資金繰り	 ▲ 33.3	 ▲ 11.1

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
小売業	業 況	 ▲ 34.8	 ▲ 17.4
	売 上	 ▲ 52.2	 ▲ 21.7
	採 算	 ▲ 30.4	
	資金繰り	 ▲ 21.8	 ▲ 26.1
サービス業	業 況	 21.8	 4.4
	売 上	 26.1	 13.1
	採 算	 21.7	
	資金繰り	 8.7	 ▲ 4.4

第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	売上不振 諸経費増		人件費増	同業者間の競合
製造業	諸経費増	同業者間の競合	人材不足	得意先減少	人件費増 売上不振
卸売業	売上不振	人材不足 同業者間の競合		得意先の減少	諸経費増
小売業	得意先の減少	人材不足 売上不振		同業者間の競合 諸経費増	
サービス業	人材不足	諸経費増	同業者間の競合	売上不振	人件費増
合 計	諸人 経材 費不 足増		売上不振	同業者間の競合	得意先の減少

第6章 設備投資の動向

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表 1 のとおり、設備内容は表 2 のとおりです。

表 1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
した	6 件 (31.6)	2 件 (13.3)	1 件 (5.6)	5 件 (21.7)	8 件 (34.8)	22 件 (22.4)
しない	13 件 (68.4)	13 件 (86.7)	16 件 (88.9)	18 件 (78.3)	15 件 (65.2)	75 件 (76.5)
無回答	- -	- -	1 件 (5.6)	- -	- -	1 件 (1.0)
合計	19 件	15 件	18 件	23 件	23 件	98 件

※上記表のカッコ内はパーセンテージを示す。

表 2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
土地	1 件	-	-	-	1 件	2 件
店舗	-	-	1 件	-	4 件	5 件
販売設備	-	-	1 件	1 件	-	2 件
車輛	4 件	-	-	5 件	2 件	11 件
付帯設備	-	2 件	-	-	2 件	4 件
OA機器	-	1 件	1 件	-	1 件	3 件
福利厚生施設	-	-	-	-	-	-
その他	1 件	-	1 件	-	-	2 件

※複数回答があるため、表 1 の合計件数と相違している。

※その他の記述（1 件記述有）

- ・アパート（建設業）

第7章 業界の景気動向等その他のご意見

- ・努力するだけ。(建設業)
- ・女性の6～10月までの慢性的人手不足。求人広告を出しても人は来ない。
(製造業)
- ・電力の値上げで厳しいです。(製造業)
- ・原材料の高騰及び消費の低迷が続いている。繁忙期になった時の人手不足が心配。
(製造業)
- ・遠方よりの輸送業者の減少による運賃の値上げ、又、業者の廃業による取引の停止等、この数ヶ月物販の価格が高騰している。(卸売業)
- ・農業資材は5年ほどで変更していく傾向にあるので、新しい商品を調達しなければならない。
利益率が低いので、仕入販売のみでは先行きが細くなるかもしれません。
(卸売業)
- ・あばしり活性化商品券の換金サイクル。(小売業)
- ・あばしり活性化商品券効果が多少あったと思う。現金化するサイトを早くしてほしい。(商品券換金) 高齢者にとって商品券がどういうものかわからない人が多い。
また、買い物をするにも足がない、面倒くさいという声あり。ハガキが信じられな
いため、商品券を買いに行かない人がいる(詐欺だと疑う)。(小売業)
- ・人材不足が深刻です。全ての物の値上げ、厳しさを感じるようになりました。
(小売業)
- ・4月に選挙があったため、宴会等が3月に早まったのが売上増の要因と思います。
(サービス業)
- ・今期はインバウンドの方々が円安と旧正月が流氷観光とマッチして多数来網。特に
中国の増加が目立ち、平成26年4月～12月までの(前期～)落ち込みを(8%)
取り戻した感じです。
次期(H27/4～)は、4月の出だしが悪く心配です。インバウンドがいないとガラ
ガラ。油断なりません!! 目の前に10%が待ち受け、原油安もいつまでも続かな
い。エネルギーコストがカギ、急!! (サービス業)
- ・店舗数が増加。客足がばらける。(サービス業)
- ・期初は出だし例年より悪い。ただ、6月以降に前年より好転するのではと期待。(会
合、イベント等があるため)(サービス業)
- ・慢性的な人材不足はかなり深刻で、店主自ら早出、残業があたり前です。この状況
が続けば、いつかは体を壊してしまいそうです。(サービス業)
- ・今期は、吹雪等により休業を余儀なくされ(10日)売上がダウンした。
(サービス業)
- ・技術が向上し、設備に経費増が伴い技術力の研修時間が多くなっている。適応でき
る若い人材が必要とされる。(サービス業)